

2023年12月28日作成 Ver.1.0

《情報公開文書》

長崎県内の、全国微生物/抗菌薬サーベイランスに
未参加の病院における抗菌薬耐性菌分離率・
抗菌薬処方内容解析と薬剤耐性対策目標に関する研究

研究の概要

【背景】

抗菌薬適正使用の必要性は世界的に認知され、我が国でもAMR(薬剤耐性菌)対策アクションプランが制定されその対応が急務です。現在、大規模サーベイランスシステム(J-SIPHE)による微生物・抗菌薬使用情報収集が行われていますが、限られた施設のみ参加であり、参加基準を満たしていない施設の耐性菌分離状況や抗菌薬使用状況はよくわかっていません。

【目的】

長崎県内でJ-SIPHEに未参加の病院における耐性菌分離状況・抗菌薬使用状況を調査し、J-SIPHE参加病院の情報を合わせることで、長崎県内のより詳細な耐性菌分離状況・抗菌薬使用状況を明らかにします。

【意義】

抗菌薬使用方法の適正化に向けて問題点の抽出に役立つデータを得ることと、そのデータを活用することで各施設の抗菌薬適正使用の促進に繋がり、効果的な耐性菌抑制につながることを期待されます。

【方法】

長崎県内の研究対象施設に同意を得た後、検査会社から匿名化した細菌培養検査結果を取得します。また各施設から抗菌薬使用量の情報を取得する。得られたデータを医療圏ごとに統合し、AMR対策アクションプランの成果指標に準じて、耐性菌分離率と抗菌薬使用量との関連を、統計的手法を用いて評価します。

対象となる患者さん

本研究は各病院で研究期間中に分離された細菌の薬剤感受性と抗菌薬使用量に関する情報を匿名化され統合した状態で使用します。そのため、特定の患者を対象としていません。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

研究期間中に検査会社に提出された細菌培養検体の下記の情報を検査会社から収集します。

- 採取日
- 検体採取された患者の年齢・性別
- 検体種別
- 検体提出総数
- 培養結果（菌種名・利用可能なら菌量情報）
- 抗菌薬感受性結果

また、各病院から全体の抗菌薬使用量について下記の情報を収集します。

- 研究対象期間中の月毎の使用抗菌薬
- 投与日数
- 投与経路

なお、本研究で用いる情報はすでに匿名化された状態で使用するため、オプトアウトの対応はできません。

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は2024年2月27日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2024年7月31日

研究実施体制

研究責任者

所属：長崎大学病院 感染制御教育センター
 氏名：柿内 聡志
 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1
 電話：095 (819) 7731

情報の管理責任者

長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 感染制御教育センター 柿内 聡志
 〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号
 電話：095 (819) 7731 FAX 095 (819) 7766

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）